

予報期間 10月24日から10月30日まで

◆今期間のポイント

<主要しょう乱の概要>

- 26日は、前線上に発生した低気圧が伊豆諸島付近を東へ進み、別の低気圧が北日本付近に進む。
- 27日は、低気圧が発達しながらオホーツク海に進む。華中付近に中心を持つ大陸の高気圧が西日本付近に張り出す。
- 28日は、発達した低気圧がオホーツク海をゆっくり進み、高気圧が朝鮮半島付近に移動する。
- 29日は、高気圧が日本の東に移動し、沖縄の南から日本の南に前線がのびる。
- 30日は、低気圧がオホーツク海へ進み、日本の南の前線が北上する。

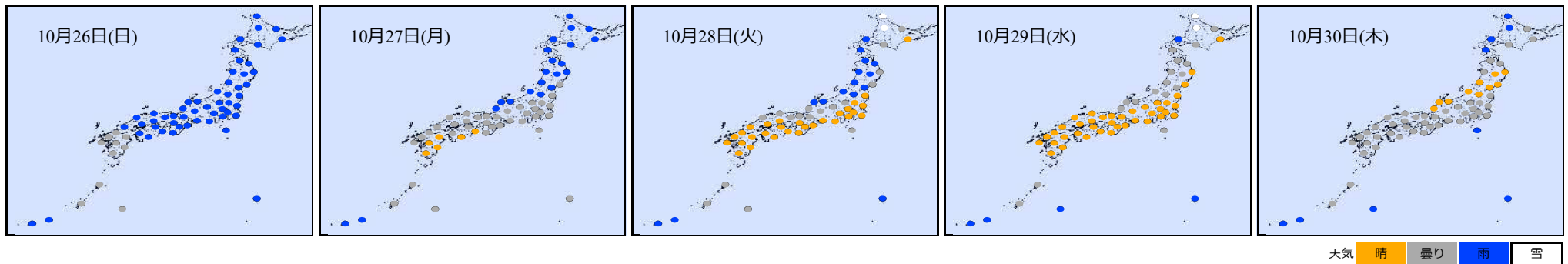
<防災事項> 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- 26日頃は、伊豆諸島では前線の影響で大雨となり、前線の活動の程度によっては警報級の大雨となるおそれがある。
- 27日から28日頃にかけて、北日本では低気圧の発達の程度によっては、大荒れや大しけとなるおそれがある。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

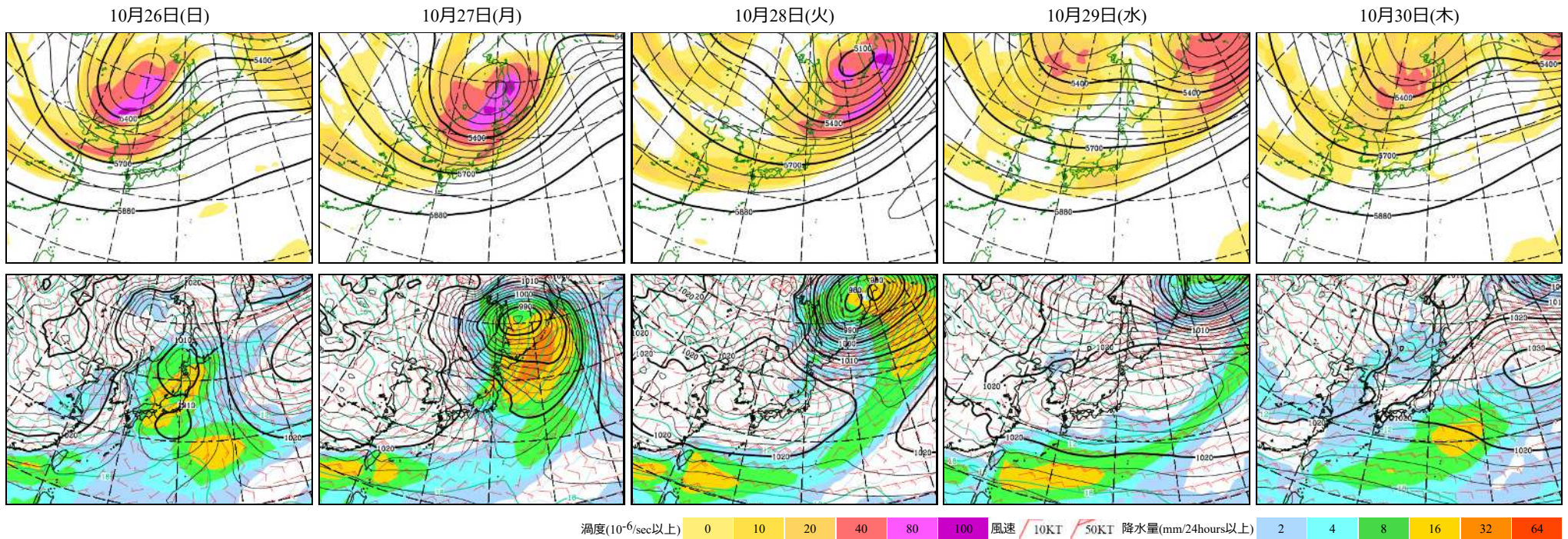
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

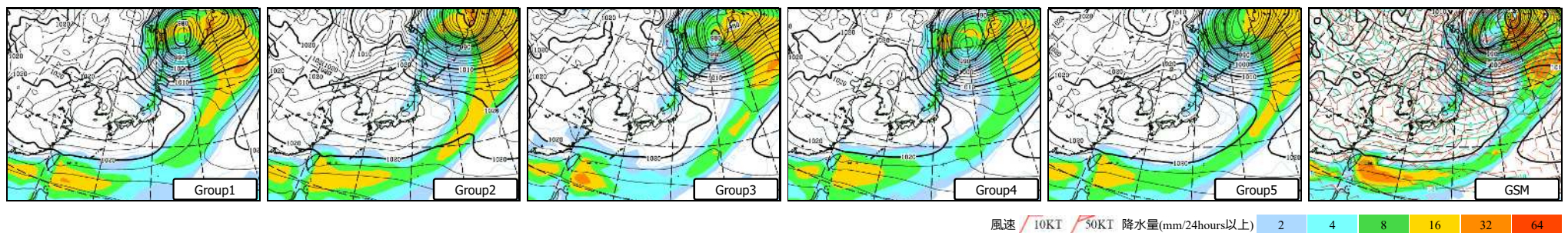


- 北日本と東日本日本海側は、曇りや雨または雪の降る日が多い。
- 東日本太平洋側は、曇りや晴れの日が多いが、26日と30日は雨の降る所がある。
- 西日本は、26日は雨の降る所が多いが、その後は晴れや曇りとなる。
- 沖縄・奄美は、曇りや雨の降る日が多い。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆10月28日のENSクラスター平均(グループ1～5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料(ENS)は、26日に日本海北部に進む低気圧が明瞭となり、27日にかけてオホーツク海へ進む低気圧が強まった。
- スプレッドは期間の終わりは大きく、特定高度線のバラつきが見られる。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。

今日から明後日までの解説は「短期予報解説資料」を参照ください。